



みかわ地域だより 20号

発行日：平成26年10月 発行元：三川地区公民館

目指せ！世界遺産登録★

天領校区 & みなと校区 力を合わせて清掃活動



去る9月14日(日)、世界遺産登録に向けた機運を高めようと、みなと校区運営協議会と天領校区まちづくり協議会主催の「三池炭鉱関連施設の清掃活動」が行われました。当日はとても気持ちのいい秋晴れで、約120人の参加者が、やる気に満ちた表情で続々と三川坑跡に集合しました。

まずは、天領校区まちづくり協議会の大滝会長が「イコモスの審査では、遺産候補周辺の環境管理はもちろんのこと、私たち地域住民の盛り上がりがとても重要です。“おもてなしの心”をもってがんばりましょう！」と呼びかけられ、参加者の気持ちも一層盛り上りました。続いて、古賀市長より「世界遺産登録に向けたこれまでの清掃活動で、燃えるごみは約210トン、燃えないごみは約1700袋分集められました。10月2日にイコモスによる現地調査が行われ、遺産候補がしっかり守られているか、管理されているか、そして、将来にわたって世界遺産としての価値を保つことができるのかを判断されます。皆さんの協力のもと、全力で取り組んでいきます。」と挨拶がありました。

そして、参加者は二手にわかれ、三川坑跡を出発。旧長崎税関三池税関支署を目指して、県道三池港線の清掃活動を行いました。それぞれの思いを胸に、協力して集められたごみは、燃えるごみ約120袋、燃えないごみ約80袋にもなりました。

最後にもう一度、三川坑跡に集合し、みなと校区運営協議会の江崎会長より「今日は、朝早くから本当にお疲れ様でした。」と労いの言葉をかけられました。



天気にも恵まれ、とても気持ちのいい汗をかくことが出来ました！

みなと小・天領小へいきいきミシン応援隊



みなと小5の1



天領小5の2

8月20日(水)にスタートした、三川地区公民館の学校支援ボランティア養成講座『～楽しくソーイング～いきいきミシン応援隊』の受講生による学校ボランティア実践を、天領小学校とみなと小学校で行いました。9月16日(火)は天領小学校5年2組へ7人、9月18日(木)は天領小学校5年1組へ8人、9月22日(月)はみなと小学校5年1組へ10人、9月24日(水)はみなと小学校5年2組へ8人の受講生が参加し、ミシンを使う授業をサポートしました。

受講生は講座の第1回～第4回で、学校支援ボランティアについてやミシンメンテナンスの仕方を学び、チュニックブラウスなど作ってきました。そしてボランティア実践当日は、各学校に早めに集合し、初回で製作したエプロンを着用し、家庭科室へ子どもたちがやってくるのを迎えました。はじめてボランティア活動を行う人もいて、少し緊張した様子でしたが、子どもたちとの交流がすすむにつれ、会話も弾み、上糸の掛け方や下糸の入れ方、返し縫いの仕方などをサポートしました。今回支援に入ったミシンの授業では、天領小学校はランチョンマットづくり、みなと小学校は直線縫い・返し縫いの練習や手提げバックづくりでした。子どもたちは、「先生、ここがわかりません。」「先生、これでいいですか?」と分からないところをボランティアのみなさんへ聞きながら、とても上手にミシンを扱っていました。ボランティアのみなさんも、かわいい子どもたちに頼られ、とてもうれしそうでした。

授業の最後には、子どもたちから「わからないところを一人一人丁寧に教えていただき、ありがとうございました。」とお礼の言葉が述べられ、ボランティアに参加した受講生も目じりを下げてにっこりと微笑んでいました。



天領小5の1



みなと小5の2

- 裏ページの“ランチョンマット作り”の裏え
- ①長崎ランチョンマットの型紙をダウンロードして、大牟田市独自のランチョンを作り、喜んでもらうことを考えました。
 - ②和紙と木材からできています。和紙は、幅1m長さ60cmのものが6本くらい必要です。
 - ③20kgくらい必要です。
 - ④約1500枚くらいです。
 - ⑤鮮やかな色使いで、絵を心を込めて書いてください。そして、お祭りに来てほしい思いを出してください。

夏が去り、秋がやってくる・・・あの夏の日の思い出集！

第53回 港まつり みんなへとどけ！！ まつりへの熱い想い



天領校区盆踊り大会 がんばれ東北！ 天領の心も一つに



今年は、福島県浪江町より『東日本大震災 復興の支援 写真展』コーナーが設けられました。

雨がしとしと梅雨空の6月19日（木）、みなと小学校5年生の子どもたち約40人が、総合的な学習の時間の一環で、港まつりへ向けてランタン製作が行なわれていた旧三里小学校の体育館を訪れました。まず、港まつり運営委員会の入江裕二郎会長が、港まつりの歴史と概要について説明。続いて、ランタン部会の中山佳教副部長が、巨大メインランタンの製作方法などについて話をされた後、ランタン部会の入江要範副部長が、市内の各小学校から募集した絵でできるランタンの製作上の工夫点・苦労点について語られました。続いての質問タイムでは、たくさん子どもたちから次々に手が上がり、子どもらしい発想豊かな質問の一つ一つに、港まつり運営委員会の皆さんが丁寧に答えていました。

最後に、子どもたちの絵が貼られたランタンや、これまでに製作された旧三井港倶楽部、旧長崎税関三池税関支署、宮原坑、大牟田市庁舎などの巨大ランタンに明かりがともされると、子どもたちの目もきらきらと輝き、大歓声があがりました。

この日、子どもたちから寄せられた質問の一部を紹介します。答えは表ページの右下です！さあ、みなと小学校5年生のみなさんはすべて答えられますか？

ランタン作りへの質問

- ① どうしてランタンを作ろうと思ったのですか？
- ② ランタンは何を使って作るのですか？
- ③ ランタンを作るのに、のりはどのくらい必要ですか？
- ④ 小学校から募集される絵は、何枚くらいありますか？
- ⑤ 私たち小学生にできるお手伝いはどんなことですか？



そして、運営委員会メンバーの熱い想いが伝わるようなお祭り日和となった7月19日（土）、20日（日）、第53回港まつりが盛大に開催されました。今年の巨大メインランタン“炭鉱電車”をはじめ、たくさんのランタンが会場を訪れる人々の心を癒し、おもてなしの心あふれるお祭りに、とても楽しいひとときを過ごすことができました。企画、準備、そして当日の運営から後片付けまで、すべてにおいて港まつりを支えてくださっている皆様、本当にありがとうございました。



三川地区公民館サークルの皆さんも踊りました！



ランタン作りに興味津々の子どもたち

雨続きのどんよりした空に太陽が久しぶりに顔をのぞかせた8月23日（土）、天領校区盆踊り大会が開催されました。

盆踊り大会当日、天領校区まちづくり協議会のメンバー、天領小学校の先生方やPTAの皆さんは午後3時に天領小学校へ集合し、皆さんに楽しい思い出を作ってもらおうための準備を行いました。



まずはソケットに電球を取り付け、提灯を一つ一つ丁寧にかぶせていきました。



みなさんがおいしく食事できるように、飲食スペースに蛍光灯を取り付けています。

午後5時を回るころには、今か今かと待ちわびた子どもたちが続々と体育館に集まってきて、静かだった体育館もいつの間にかにぎやかになっていました。そして、午後5時30分、PTAの徳永会長によるはじめの言葉、まちづくり協議会の大滝会長、坂本校長の挨拶でスタートです！

まずは『子どもかくし芸大会』。橋田かほさん（4年生）の司会のもと、6組約40名の子どもたちが、なわとびに一輪車、ダンスと元気いっぱい芸を披露し、大いに盛り上げてくれました。

次に、手始めの『おどり1部』を皆で楽しんだ後、子どもたちは“ラムネ”、大人は“ビール”で『早飲み競争』が行われました。見事1位を勝ち取った参加者の誇らしげな表情に、会場のみなの気持ちもどんどん高ぶっていきました。そして、仁義なき早飲み競争の後には、本日のメイン『おどり2部』で仲良く、楽しく盛り上がり、会場の皆さんの心が一つになりました。

最後に、民児協・社協の坂井会長によるおわりの言葉でしめられた後、みなさんお楽しみの福引抽選会が行われ、天領校区盆踊り大会は今年も無事に終了することができました。

今年の夏休みは非常に雨が多く、子どもたちも不完全燃焼感でしたが、夏休みの最後にとっても楽しい思い出を作ることができたと思います。準備、運営、後片付けとご尽力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



息を合わせて、仲良く、楽しく踊りました



6年生にとっては小学生最後のかくし芸大会